

けんぱくものしりシート

ホームスパン

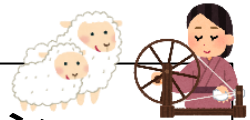


解説員

あら、あたたかそうですね。これは『ホームスパン』のマフラーです。聞いたり見たりしたことはありますか？ 岩手県と大きなつながりがあるホームスパン。どんなステキがつまっているかな？いっしょにひもといていきましょう。



～名前のこと～



ホーム + スパン

いえ かてい ひつじ け (羊の毛) つむぐ (糸にする)

て お
手織りをする

→ 広い意味で、家庭で羊の毛から糸をつむいで、手織りをした布のことをホームスパンと言います。

～色はどうやってつけている？～

羊の毛を刈って洗ったら「染色（色をつけること）」をします。むかしは草花の花や葉、樹木の葉や樹皮、果実、果実の殻など（※1）を使って染めました。昆虫や貝などを使って染めることもあるんです！明治時代以降は、化学染料（※2）も使われるようになり、現在はどちらも使われています。

※1 植物染料という。染料

とは染める材料のこと。

※2 石油などを元にして化学的に作られた染料のこと。

【植物と色の例】

・もみじの葉→ねずみ色・金茶色

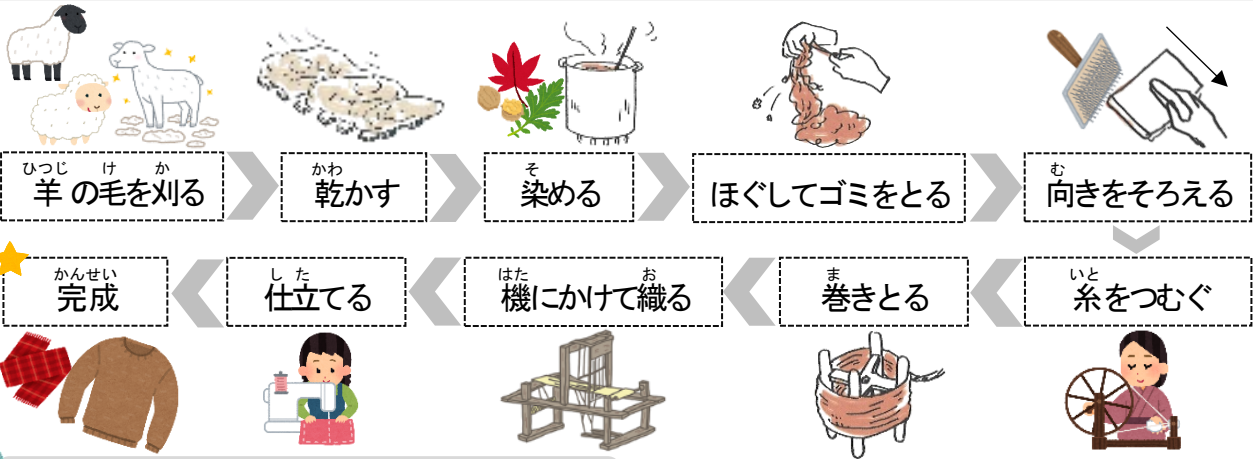
（紅葉していると澄んだ色になる。）

・くるみの花や樹皮・青い実の皮→こげ茶色

・よもぎの葉や茎→灰色がかった緑色など



～おもな工程（省略している工程があります）羊から布へ～



～ホームスピンの歴史～



ホームスピンの生まれはイギリス・スコットランド。明治時代に日本に技術が伝わり大正・昭和時代に普及しました。今の二戸市（右上の地図◇）に住んでいたイギリス人宣教師が、技術を伝えたと言われています。イギリスと気候が似ている岩手は、羊を育てることで製作する技術、どちらも発展し「ホームスピンの聖地」となりました。

←岩手県内で工房（仕事場）があるところ。

◆盛岡市

☆雫石町

★花巻市東和町

（県内初。大正時代から。）

※国内全体の約8割を岩手県で生産しています。

～ホームスピンのいいところ～ 軽い！あたたかい！ながもちする！

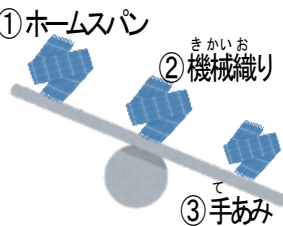
●軽さ：長さ130cmのマフラーで比べると…

①ホームスパン（＝手織り）62g ②機械織り 124g ③手あみ 170g

●ながもちする：コートやジャケットは20～30年もつそうです。

●あたたかさ：これはさわってみるしかないですね！

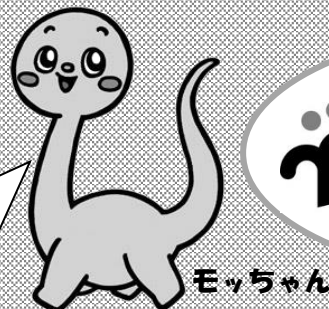
ぜひ、手にとって軽さとあたたかさを感じてみてね！



参考にした本『てくり別冊 岩手のホームスパン』エルビーエー 編集室 2015年/

『ホームスパンテクニック』復刊ドットコム 2014年/『民藝の教科書②染めと織り』(株)グラフィック社 2012年 他

来月（1月）の
けんぱくものしりシートは
地質-22だよ！
おたのしみに！



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/

※「けんぱくものしりシート」の内容は発行当時のものです。最新情報ではございませんので、あらかじめご了承ください。
※「けんぱくものしりシート」は解説員が執筆しております。